

## 国の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）と神戸市の取組みの比較

## 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン） 7つの柱

## 神戸市の取組み

(仮称) 認知症の人にやさしいまちづくり条例における  
主な取組み

I	<b>認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進</b> (1) 認知症の人への社会全体の理解を深めるための全国的なキャンペーンを実施 認知症の人がメッセージを語る姿を積極的に発信 (2) 認知症サポーターの養成（地域や職域） (3) 学校において認知症の人を含む高齢者の理解を深める教育の推進
II	<b>認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供</b> (1) 本人主体の医療・介護等の徹底 (2) 発症予防の推進 (3) 早期診断・早期対応のための体制整備 ○かかりつけ医認知症対応力向上研修 ○認知症サポート医の養成 ○認知症疾患 医療センターの整備 ○認知症初期集中支援チームの設置 など (4) 行動・心理症状（BPSD）や身体合併症への適切な対応 (5) 認知症の人の生活を支える介護の提供 ○認知症介護研修 など (6) 人生の最終段階を支える医療・介護等の提供 (7) 医療・介護等の有機的な連携の推進 ○認知症ケアパス ○認知症地域支援推進員の配置 など
III	<b>若年性認知症施策の強化</b> 総合的な支援の実施
IV	<b>認知症の人の介護者への支援</b> ○認知症カフェの設置 など
V	<b>認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進</b> (1) 生活の支援（ソフト面） (2) 生活しやすい環境（ハード面）の整備 (3) 就労・社会参加支援 (4) 安全確保 ○地域での見守り体制の整備 ○交通安全の確保
VI	<b>認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進</b> 国における認知症の予防法・診断法・治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
VII	<b>認知症の人やその家族の視点の重視</b>

1	<b>予防・早期介入</b> ○WHO 神戸センターと神戸大学等による共同研究への協力 ○フレイル健診 ○医療産業都市における PET によるアルツハイマー研究 ○KOBE もの忘れネットワーク
2	<b>事故の予防と救済</b> ○事故救済制度の創設 ○自動車運転免許の返納推進
3	<b>地域での治療・介護の場</b> ○医療介護サポートセンターの設置 ○認知症初期集中支援チームの拡充 ○認知症疾患医療センターの拡充 ○認知症サポート医の養成 ○かかりつけ医認知症対応力向上研修 ○病院勤務対応力向上研修 ○認知症介護研修
4	<b>地域力を豊かに</b> ○認知症カフェ登録事業の推進 ○認知症サポーターの養成 ○認知症ケアパス ○認知症地域支援推進員の配置 ○高齢者安心登録事業の推進 ○徘徊老人緊急保護事業 ○中学校区での徘徊模擬訓練の拡大 ○家族の会と連携した認とも（訪問サポーター）の養成・派遣 ○福祉サービス利用援助事業の身近な相談窓口の開設